

No.	該当資料	ページ数		ご意見	対応
		修正前	修正後		
8	資料7	-	-	重点施策が11ある。どれも目指すところではあるが、もう少し絞ってもいいのではないか。	基本構想の中で、各重点施策において、「子育て世代に選ばれる まちづくり」に取り組むにあたり、特に重点を置いて取り組むべき施策の目指す方向を示しています。よって、重点施策としては11施策あるものの、「子育て世代に選ばれる まちづくり」には全ての施策が必要不可欠な施策であり、その中で優先度を定めることは困難であり、関係部局が、横断的に着実に施策を進めていくことが「子育て世代に選ばれる まちづくり」の実現につながるものと考えています。
9	資料7	-	-	11の重点施策を同時進行で進めても市を大きく変えることは困難であると思います。平面的な11の施策にZ軸を設けて、実施時期・目標達成のタイミング、プライオリティを見える化、明確化することが必要であると思います。例えば、Z軸では命に関わる防災・減災対策を重視する、企業誘致を重視して雇用や財政の安定的な市政を目指し、その後、交通・子育ての充実に進むといった、順序の明確化をして市民に理解を求めることが必要であると思います。	重点施策の進め方については、実施計画において、毎年度、計画期間を3年とし、財政事情や事業の進捗状況等を勘案し計画を進めます。
10	資料7	9	9	下から2行目、「特に関連する11の施策」を「特に関連する11(海津イレブン)の施策」とすると良い。 P.11の第2章で海津イレブンがいきなり出てくるので、方向性のところに入れるとよいと思う。	ご指摘のとおり、「特に関連する11の施策」に「海津イレブン」を追記し、位置については、検討した結果、施策のあとに挿入し、「特に関連する11の施策(海津イレブン)」に変更します。
11	資料7	10	10	下から3行目、「市街地の形成」は、施策体系(方向性)にも記載されていないので、削除すべきと思う。 市街地の形成とは、人家や商店が密集した賑やかな街を形づくることである。後継者が無く、店じまいしているところが多い。そして、人口減少が続く中で、そのようなことが目標年度までに推進可能なのか。	市街地の形成については、本市の特性に応じた個性や魅力を活かした市街地の形成を目指し、基本計画の施策「2-4住環境の整備」に記載しています。 また、「市街地の形成が目標年度までに推進可能なのか」というご質問につきましては、総合計画においては、市の目指すべき方向性を示すことが重要だと考えています。そして、その目指すべき方向性に基づき、望ましい将来のまちづくりの実現に向け、施策の推進に取り組むことを目的としています。
12	資料7	15	11	下から5行目、「コロナという危機的な状況をむしろ積極的に取り込み」とあるが、行政として本当に大災害ともいえる危機的なコロナ禍を積極的に取り入れるのか。 この文章のところは、「コロナ禍において社会生活が大きく変化したことを捉え、今後のまちづくりの活性化」と続けるとよいと思う。 ※参考(下から6行目) 「そのような中、地方創生の一環として、観光戦略の練り直しや、空き家や空き店舗等を活用したサテライトオフィスの誘致、行政のデジタル化、教育現場におけるICT環境の整備の加速など、コロナという危機的な状況をむしろ積極的に取り込み、まちづくりの活性化につなげていくことが重要です。」	ご指摘のとおり、コロナの危機的な状況を取り入れるという意味ではないことを踏まえて検討した結果、下記のとおり変更します。 下から6行目 「そのような中、コロナ禍による社会経済の変化を好機と捉え、地方創生の一環として、観光戦略の練り直しや、空き家や空き店舗等を活用したサテライトオフィスの誘致、行政のデジタル化、教育現場におけるICT環境の整備など、積極的に今後のまちづくりの活性化につなげていくことが重要です。」
13	資料6	-	-	ワークショップの参加が少ないのが残念。	市民ワークショップの周知については、市報・ホームページ・インスタグラムへの掲載、各認定こども園保護者会及び小・中学校PTA役員への依頼、子育て支援センターへのチラシ配布を実施しました。 参加者数は予定していた人数よりは少なかったものの、コロナ禍にも関わらず2日間合わせて30人の方に参加していただき、活発な意見交換ができ、有意義なワークショップとなりました。
14	資料7	-	-	スマートインターが出来ることはよいのですが、それにより、南濃道の駅の258号線の車輛通過が減少するのでは。減少したことにより、道の駅の利用等に影響はないでしょうか。	ご指摘のとおり、スマートインター供用開始による258号線の交通量への影響、それに伴う道の駅を含む周辺観光拠点への影響については、考慮しながら施策を進めていくべきと考えています。

No.	該当資料	ページ数		ご意見	対応
		修正前	修正後		
15	資料7	7	7	アンケート調査で、2,000人に出されて半分程しか戻らないのは、いつものことでしょうか。半分戻ればよい方でしょうか。	今回実施した総合計画策定に係る市民意識調査の回収率は47.6%で、5年前の前回調査(43.9%)と比較すると3.7ポイント上回っています。また、R2に実施した人権教育・啓発基本計画に係る市民意識調査の回収率は、47.1%となっています。回収率は半分程度ですが、有効回答数が952部となっており、統計学的には有効な調査となります。
16	資料3～6	-	-	交通の便が悪いとありますが、もう少し何とかならないのでしょうか。通勤・通学他、利用者にとっては気掛かりなことです。	アンケート結果やワークショップでの意見からも、交通アクセスについては重要視されており、重点施策として取り組むとともに、アンケート結果等から市民ニーズを把握し、基本計画の施策「2-2交通網の整備」に記載しています。
17	資料7	13	14	重点施策3 交通アクセスの改善と公共交通の維持・確保 名古屋へのアクセスは40年前と大きく変化がないように思う。車通勤に頼るしかない。鉄道最寄り駅までの交通アクセスなど、将来の見通しが持っているのか。	
18	資料7	-	-	コロナ禍の状況の中で、人との関わりが希薄になりつつあるのが気掛かりなことです。	市では、従来の手法を見直し、人とのつながりが保てるよう努めるとともに、各分野ごとに相談体制の充実を図り、情報発信等に努めていますが、身近な人同士や地域でのコミュニティも重要となります。市民一人ひとりが身近な人を気にかけていただくことで、コロナ禍の不安の解消につながると考えています。
19	資料7	12	13	重点施策1 切れ目のない子育て支援 長年子育て支援事業に関わらせていただいていることは、子育て支援の一本化(子育て支援センター)です。こども課、社会教育課、社会福祉課、健康課等それぞれで取り組まれているが、全体としての成果、目指すところが見えてこない。子育て環境づくりの取り組みでは、この点を踏まえたイメージを。 また、子育て世代の経済的負担の軽減に留まらず、子育て世代を(親として)地域で育てる取り組み(親の学びの場)も盛り込んでいくなど検討してほしい。	基本計画の施策「1-3子育て支援の充実」に記載しています。いただいたご意見の内容につきましては、関係課と情報共有し、今後の施策を実施していく中で参考といたします。
20	資料5	-	-	子育て世代の保護者の意見等、時代かなと思う面もあるが、中には自己主張が前面に出て、「親としてやるべきこと」を忘れているのではと思う。	ご意見として承ります。
21	資料5	-	-	各問いに対して、どの地区の方々がこの意見が多かったのかを明確にしてもらいたい。アンケートをしっかりと反映していくためにも必要。	ご指摘のとおり、地区ごとに分析し、庁内で情報共有します。分析結果は審議会でご報告いたします。
22	資料4	-	-	海津明誠高校の生徒だけで傾向をつかむのは疑問。普通科、商業科、工業科へ通う生徒の意向も反映すべきではないか。	ご指摘のとおり、市外の高校に通う生徒からの意見も反映すべきではありますが、5年前にも同様の形で実施しており、前回調査との比較も考慮し実施しました。また、昨年度実施した市民意識調査では15歳から19歳までの回答は39人となっており、そのなかには、市外へ通う高校生もある程度含まれていると思われます。今回のアンケート調査についても、市外在住の56人の生徒も含まれており、市外から見た海津市に対する意見も含まれており、有効であると考えています。
23	資料4	-	-	高校生アンケートの主は海津明誠の生徒でしょうか。そうであるならば、逆に現在海津市内の高校を選んでいない高校生の意見や、大垣市内進学校の生徒は既に県外を見据えていると思いますので、そういった高校生の考えも把握した方がよいのではないかと思います。	今後の高校生を対象にしたアンケート調査では、今回のご意見を踏まえ、海津明誠高校の生徒だけでなく、市内在住のすべての高校生を対象として実施できるよう検討します。
24	資料7	13	14	重点施策7 稼げる農業・雇用を生む農業の実現 JAにおいても農業振興ビジョン(令和3年度～令和7年度)を作成。海津市と協力し進めます。	基本計画の施策「4-1農林漁業の振興」に、JAと連携して推進することを記載しています。